

## 2015年10月12日減災会議アンケートとりまとめ

来場者数 95名程度(受付漏れ数名を含む)

アンケート回収 72名(回収率 75%)

新規メルマガ登録希望者数 19名

### ■参加者ご本人について

性別 男性 29名(40%) 女性 43名(60%)

年齢 ~19歳 21名(29%) 20代 16名(22%) 30代 6名(8%) 40代 12名(17%)

50代 11名(15%) 60代 5名(7%) 70歳~ 1名(2%)

#### 【職業】

会社員 15名/学生 32名/飲食業/NPO法人/主婦 4名/大学職員 2名/キャリアカウンセラー/保守・  
防災/福祉職/公益法人/団体職員/美容師/農業/写真家/会社経営/無職 2名/

### ■減災会議は何で知りましたか？(複数回答有)

桜ライン 311のお知らせ 13名/ニュースレター 1名/公式 HP 3名/公式 facebook 32名

公式 twitter 2名/大学のお知らせ 19名/知人の紹介 9名(近内さま、佐藤文香さま、

寺垣さま、田中守さま、佐藤一男 3名、未記入 2名/その他 授業 1名

### ■会議告知、会場案内はいかがでしたか？

分かりにくかった 6名(8%)/分かりやすかった 54名(75%)/どちらでもない 9名(13%)

無回答 3名(4%)

・都内在住の人は会場が分ると思うが、他地区から参加する人の為に近く of 駅等からの略図があれば良かった(70代~男性)

・警備室で身分証の提示を求められました。知らずにちょっとびっくり(50代男性)

・イベント自体、当日友人に聞くまで知らなかった…(20代女性)

・授業での告知が無ければ知らなかったし、参加もしなかった(~19歳女性)

・守衛のところにも案内図があればよかった。守衛に聞いた(50代男性)

・門に誘導看板を置くとか、スタッフを配置して欲しかった(20代女性、30代男性)

・タイムスケジュール(式次第)があった方が良かったかも(30代男性)

・会場の地図を載せて欲しかったです(50代男性)

・facebookに大学のどこで開催かも書いていただけると嬉しかったです(20代女性)

・大学構内に入ってから建物が見つけにくかった(30代女性)

・ビニールテープを張って前方へ座ることを誘導していたのが印象的だった(20代女性)

■雰囲気、音響など会場設備や施設はいかがでしたか？

悪かった 0名/良かった 67名(93%)/どちらでもない 1名(1%)/無回答 4名(6%)

- ・女子大というところは緊張しますね(50代男性)

■会議の開始時間はいかがでしたか？

早かった 5名(7%)/遅かった 6名(8%)/ちょうどよかった 60名(83%)/無回答 1名(2%)

- ・個人的ですが、夕刻から予定があったので早い開催であれば良かったなあ(50代男性)
- ・大学でやるのであれば、放課後にやった方がいいかと思います(20代男性)

■会議時間はいかがでしたか？

短かった 1名(2%)/長かった 10名(14%)/ちょうどよかった 56名(77%)/無回答 5名(7%)

- ・3時間は長いかと思っただ、ちょうどだった。(20代女性)

■会議の満足度をお聞かせください

1…0名/2…0名/3…8名(11%)/4…30名(42%)/5…29名(40%)/無回答 5名(7%)

- ・質疑応答の時間が5人(=20分くらい)は欲しいです。(30代男性)
- ・現在の自分にできること、すべきことを今後も考えていきたいと思います。(20代女性)
- ・岡本、佐藤両氏の話は大変わかりやすかった(40代男性)
- ・式次第が有った方が良かったのではない(70歳～男性)
- ・まわりの人たちに伝えたいと思いました。(50代女性)
- ・地元の福祉事務所に相談して、次回から手話通訳をつけて欲しい。(50代女性)
- ・学生たちの発表はとても参考になった！(40代女性)
- ・「陸前高田=被災地」というイメージが変わりました。(～19歳女性)
- ・減災会議、もっと沢山の人の参加してほしいものですね(40代女性)
- ・桜ライン311の活動報告についても、もう少し触れていただけのものかと思っていました。一男さんの講演も楽しみにしていましたが、共催の事情などもありますよね…(40代女性)
- ・とても聞きやすい話し方で話して下さったので、時間が気になりませんでした(50代女性)
- ・陸前高田など被災地へ行ったことがない自分が少しだけ場違いというか、申し訳ない気持ちになりました。(～19歳女性)
- ・大切な人を残して逃げるか一緒にいるかという選択を考えると、涙が出そうになりました。(～19歳女性)
- ・私は静岡県の出身で、東海地震や富士山など、災害の危険を耳にタコができるほど言われてきました。避難用のリュックを用意したり、家族で避難場所やルートの確認もしています。でもそ

れが過信につながってしまう危険性があることも、知っておかなければいけないと思いました。パネルディスカッションの中で、災害時の SNS の利便性にすごく共感しました。家族でうまく使えるようにできたらと思います。(20 代女性)

- ・「学生が率先して行った所で減災の考えを広げる」「消防団もさっさと逃げればみな逃げる」という言葉は参考になった。(50 代男性)

- ・すごく密度の高い時間だった。ボランティア・被災といったことに対する意識、イメージが変わった。新しい話が聞けた会議だった。(～19 歳女性)

- ・学生の気づきが聞けて良いと思う。もっと増やした方が良い。(30 代男性)

- ・参加して、自分が防災に対して地域住民に伝えている事が間違っていないと確信がもてた！これから伝え続けます。(50 代男性)

- ・被災地との関係を考え直す、きっかけになった(60 代男性)

- ・素晴らしい会場→出席者が少ないのが残念でした(60 代男性)

- ・今後の陸前高田をどうすべきか、についても桜ライン様が充分なる関わりをもてるよう願っています(50 代男性)

- ・普段あまり自分自身の減災ということについて考える機会が少ないので、良いきっかけになりました。(～19 歳女性)

- ・動くことの大切さを再度認識しました。(30 代男性)

#### ■会議で気になった内容はどれでしたか？その理由もお聞かせください。

- ・パネルディスカッションで、生の学生の気持ちを聞いたり、それに対する答えがあったり、自分の中に常にある疑問も解消される気がしました(20 代女性)

- ・基調講演とパネルディスカッション。岡本さんの個人的なお気持ち、震災から数年後の大学生の子たちの意見を聞けたので。(20 代女性)

- ・お茶女大生のトライアル発表。実際にテストをしてみて、経験に基づく気づきや課題に説得力があった。(30 代男性)

- ・観光の話が気になりました。外部の学生が観光に行くのにハードルが高い、という話に対して、被災地を見に行く気持ちで来なくても良いというお話しでしたが、やはりどうしても被災地というイメージはついてくると思います。そのイメージを活かしながら、高田を活性化させられるような観光というのがいいなと思っているので、今回考えるきっかけになってよかったです。(20 代女性)

- ・「まず逃げる」という言葉が印象にのこりました。(50 代女性)

- ・パネルディスカッションで出た「陸前高田に旅行に行ってきた」ということを地元の人はどう感じるのかという質問。自分のこれからの被災地への関わり方がわからなかった。(～19 歳女性)

- ・災害を「伝える」ということ。「自分ごと」にすること。現状に欠如していることだとずっと感じていました。(～19 歳女性)

・電車運行停止のため遅れてしまったので、前半を参加していないのですが、学生の避難所トリアル発表はとても良かったです。ぜひうちの自治会に講演に来ていただきたいです。(40代女性)

・震災プログラム、パネルディスカッション内で出た「自分ごと」というキーワード。どのように自分ごとにも思ってもらえるか、答えはなかったが、一緒に考えていきたい。

(50代男性)

・私はグローバル文化学環の所属ではないので、思っていた以上に被災地関連の活動をお茶大がたくさん行っていることを知れたのが良かったです。タイミングが合えば、ぜひ参加したいですし、同じ学生たちが被災地で感じたことを聞く機会がもっと増えたらと思います。(～19歳女性)

・岡本さんのお話の、危険な場所に「生きる」ということ。いかに自分たちが人災と隣り合わせに生きているか改めて実感させられました。だからこそ、桜ライン311の方々を中心に“減災”を訴えているのだと伝わってきました。(～19歳女性)

・開催回数を年2回くらいにできないか→参加人数が毎回少しずつ減少しており、風化しないためにも(50代男性)

・逃げることに対する意識のお話。確かに自分でも「逃げなくても大丈夫だったら…」という考えがよぎると思いました。その考えに対する意識が変わって良かったと思います。(～19歳女性)

・活動報告も少し聞きたかった。質問シートを休憩時間に回収して、パネルディスカッションで回答した方が皆質問しやすい(20代女性)

・上映会について(～19歳女性)

・学生発表。普段は現地に行くことや身内でワークショップをするが、他の大学生の意見を聞けたから(20代男性)

・手話通訳の方がいらっしやっただのはとても良かったと思います。(20代男性)

・防災減災にはまず感情がなければいけないという部分。今まで陸前高田のために何かしたいと思って活動はしてきたけれども、自分自身にそのことを活かすということは能動的に考えたことがなかったので。(～19歳女性)

・現地の方がボランティアについてどう考えているのかいつも気になっていたが、今日話を聞いて良かったです。(～19歳女性)

・減災、まわりの人たちと考え行動すること、動かないと何も生まれませんと思いました。

(30代男性)

・あのさくの中で岡本さんが「俺らみたいのが死ねば良かったんだよね」と言っておられるのが印象に残っていましたが、今日の基調講演を通して背後の思いを知って、さらに重みを感じました。同じ想いをするなという強い思いを感じました。(40代男性)

・「防災」「減災」ウィキペディア調べだったことに時代を感じました。(20代女性)

■今後減災について知りたい情報や興味のある内容はありますか？その理由もお聞かせください。

・減災に関する情報は今も溢れていますが、取組みを続けるための情報発信を継続してほしいです。まさに今日のような日をつくっていただけたらと思います。(20代女性)

・津波被災時に当時の人々が取った行動とその結果のデータ。自分と周辺のひとたちの行動に役立てたい。(30代男性)

・実習の内容発表興味あり。話が聞けてよかったです。(40代女性)

・我々世代ができることは何なのか？ということについての被災地の方々からのご意見。(～19歳女性)

・一男さんの「伝えてくれる人を増やすために伝える」という言葉が印象的でした。私自身も陸前高田との関わりや震災以降考えていることを、どう人に伝えていくか考えます。(20代女性)

・自治会の防災担当をしています。形骸化してしまっている防災訓練を現実的なものに変えたいと思っています。そのような情報が知りたいです。(40代女性)

・避難マップを配布したのはいいですね(50代男性)

・毎日の生活の中で出来ること、積み重ねてやっていくこと、家を守る主婦が特にやらなければならないことなどの情報が知りたいです。(50代女性)

・日本は災害が多い国土。地震に限らず、雨や台風、たつまき、火災…色々なリスクがある。日常生活、人生を充実させる生き方と両立させながら、起きうるリスクに備えるか、災害を経験していない人、土地でリスクに備える意識をもたせ、維持できるか。どんな取組みがありえるか。興味があり、考えていきたい。(30代女性)

・単独の自治体では困難なことも多く予想されるので、広範囲の自治体ネットワークが必要と思われます。自治体だけでなく、民間団体も同じこと(50歳男性)

・基調講演の中で、東京が世界一リスクな街だという内容、問わず語りの取組み(50歳男性)

・「当事者意識」という言葉。今まで考えたことはなかった言葉だけど、確実に私のなかで欠落している意識で、知ることができて良かった。(～19歳女性)

・減災は3.11以降、徐々に言われているが、もっと拡散する方法があれば良いと思う。(50代男性)

・地震や火山についてなど、情報を紙で渡してくれたらもっと印象が強く残ったかもしれません。来場された方に関心を持ってもらう為に(30代男性)

・避難場所の確認、被災者の方々の声が聞きたい(～19歳女性)

・宮城県沖のプレートに再びひずみができていること。首都直下型地震と富士山噴火について(20代男性)

・どうやったら怪我をしないのか。都市において被災しない方法。津波のようにただ逃げるだけではダメだと思うから。(～19歳女性)

- ・減災のツールや非常時に役立つものについて(30代男性)
  - ・企業内で減災に取り組むために何をしていけばいいのか、従業員の意識を変えていくために何ができるのか(30代女性)
  - ・他の大学の取組みについても知りたいです。(40代男性)
- 被災状況と対応、ケーススタディ、メンタル面のケアなど(40代女性)
- ・今住んでいる場所や、職場の近くで予測されている災害を知りたいです。(調べ中)予測されているのに備えられていないのは悔しいので。(20代女性)

■桜ライン 311 へのご意見、メッセージなどありましたらお聞かせください。

- ・離れていても応援していますし、陸前高田に行くことでも応援します。(20代女性)
- ・定期的に活動されているのを告知情報で拝見していると、自分も何か協力したいという気持ちになります。今後も出来る限り参加していきます。(30代男性)
- ・実習後「当事者意識」についてずっと考えてきました。当時、私は東京にいたので、同じ経験をしていない以上、陸前高田の人々の心を理解することはできないのではないかと感じ、自分には何ができるのか明確に答えが出せずにいます。今日、この会議に参加して、予想以上にお客さんがいたこと、陸前高田に関心を持っている人が沢山いてくれたことが嬉しいと感じました。この感情は内部的なもの、他人事ではない1つの「当事者意識」なのではないかと感じています。実習でお世話になった方々に会いに、また高田に行きます。(20代女性)
- ・陸前高田の一般市民から、桜ライン 311 の活動がどのように受け止められているのが気になる場所である。(70代~男性)
- ・桜を植えることで今後の世代につなげるという姿勢に感銘を受けました。今いちばん大切なことなのではないかと思えます。(~19歳女性)
- ・1人暮らしをしていると、近所に頼る人がいなくてたまに不安になる。これを機に、町内会や消防団に入ったり、防災訓練などがあつたら積極的に参加していこうと思った。(20代女性)
- ・先日、南相馬へ向かい、地元で活動する方々の話を伺う機会がありました。どちらも役割を精一杯務めておいででしたが、若い方々がみえないことは気になりました。(大きな課題と仰っておられました)311の皆さん+お茶大は、とてもよいつながりだと思えます。(60代男性)
- ・悔しいという言葉に強く共感しました。災害で恋人を亡くしました。悲しいだけではなく、防げたのではないかという思いが強く、二度とこの災害で亡くなる人がいなくなってほしいと感じました。災害について考えること、呼びかけ続けることは大変だと思いますが、頑張ってください。応援します。(30代女性)
- ・学生の身としてご寄附の形での協力はあまりできないかもしれませんが、今後も SNS で広める、自分そして周りの防災・減災のために動くことをしたいです。機会があれば、参加してみたいとも思いました。応援しています。(~19歳女性)

・17000本植えるプロジェクトは、何年かかるかわからない本当に壮大なプロジェクトだと思います。その分、完成した際には陸前高田のひとつの観光名所になると思います。応援しております。(～19歳女性)

・植樹に伺うたびに陸前高田が好きになり、知人が増え、行くことが楽しみになっています。(被害にあわれた方々には大変申し訳ございませんが)多くの方々がつらい想いをなされた震災に関連したことで、楽しみにしている…せめてもの償いとして将来の災害被害をなくしていきたいと思っています。(50歳男性)

・積み上げてきたノウハウ(活動そのものも、組織運営も)を水平展開できるといいですね。(50歳男性)

・実際に参加できるかはわからないけれど、とにかく植樹会に参加したいと強く思いました。(～19歳女性)

・私は、今日の聴衆の中でも最も震災と縁がうすい者かもしれません。当時は千葉県にいましたが、生まれて初めての大きな震災で報道されるがままに行動し、買い占めなど、本当はしてはいけない行動も多く、反省しているところです。今後人生の中でおそらく遭遇するであろうそのときに向けて、次こそは意識を変えて行動したいと思い、参加させていただきました。お話を伺って「悔しい」というあつい気持ちが心に響き、とても貴重な時間を過ごすことができました。必ず私の行動を変えてみせます。(～19歳女性)

・植えた桜を100年後も、300年後も津波到達地点であることを伝承する方法は？消えさらない方法が必要。(50代男性)

・岡本→初めて講演を聞いたけど、言葉が軽い。あえて具体的なことを言わないようにしてるのかわからないけど、言葉の中で、とても軽くなる台詞が多すぎる。結果的に何を言いたいかわからなかった。(30代男性)

・足立区の植樹にはネームプレートがついています。先日お伺いしたところ、ネームプレートはないとか。プレートがあると、自分の木はどうなったかと気になり、何度も高田へ行くようになると思うのですが？私有地では無理でしょうか？(60代男性)

・家具の固定のことや、以前一男さんに教えていただいたペンライトのことなど、知ることができればすぐ実行できる減災の知識が、桜ライン311のtwitterやFBページで流れてきたら、シェアしたり実践したりできていいなと思います。(20代女性)

・何を継続するかが大切だと感じました。また、少しでも関わっている自分も少し時間がたつと忘れてしまうことを反省しました。(20代男性)

・すごく根気のいる活動だと思いますが、意味のあることだと思います。(～19歳女性)

・次の植樹会にはいけないのですが、また次の機会に足を運びたいと考えています。また、陸前高田にボランティアに来ているほかの大学生にも映画のことを知ってもらいたいと思いました。(～19歳女性)

・これからも活動を続けていくことで、減災の意識は広がっていくと思います。自分自身もできることをしっかりやりたいと思います。(30代男性)

・これからも都内を含めて、各地で講演や報告会を行なってほしいと思います。可能な限り、参加したいと思います。(30代女性)

・息の長い活動になるとと思いますが、できる形で応援させていただきます(40代男性)

・全然関係のない話ですが、高田で民泊できたら楽しそうだなと思いました。(20代女性)